

改訂日 2022年8月15日 (第10版)

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	オプティガード® 20EC
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
FAX番号	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	木部用防蟻・防腐剤

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分4
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分1
環境に対する有害性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (中枢神経系、腎臓) 区分3 (麻酔作用)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (中枢神経系)
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分2
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分2

※ 記載がないものは「区分に該当しない」または「分類できない」

#### GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害  
皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
眠気又はめまいのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 臓器の障害  
 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害  
 水生生物に毒性  
 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しない。  
 取扱い後は手をよく洗う。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。  
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。  
 環境への放出を避ける。

【応急処置】

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。  
 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡する。口をすすぐ。  
 皮膚についた場合：多量の水と石鹸で洗う。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを装着して容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受ける。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受ける。  
 特別な処置が必要である。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受ける。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。  
 漏出物を回収する。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密栓しておく。  
 施錠して保管する。

【廃棄】

内容物／容器を法令に従って適切に廃棄する。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分、含有量及びCAS番号

成分	含有量 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号
チアメトキサム	2.0	153719-23-4	化審法 (5)-6844
チアベンダゾール	4.0	148-79-8	化審法 (9)-820、(9)-1851
シプロコナゾール	2.0	94361-06-5	化審法 (5)-6266
ベンジルアルコール	30-40	100-51-6	化審法 (3)-1011
有機溶剤、界面活性剤等	残	非公開	-

## 4. 応急処置

吸入した場合	<p>蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。</p> <p>症状が改善しない場合は、医師に連絡する。</p> <p>蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。</p> <p>呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。</p> <p>嘔吐物は飲み込ませないようにする。</p> <p>直ちに医師の手当てを受ける。</p>
皮膚に付着した場合	<p>付着物を布にて素早く拭き取る。</p> <p>大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。</p> <p>溶剤・シンナーは使用しない。</p> <p>外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受ける。</p> <p>汚染された衣類を取り除く。</p> <p>直ちに、全ての汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗う。</p> <p>直ちに医師に連絡する。</p>
眼に入った場合	<p>直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。</p> <p>コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。</p> <p>まぶたの裏まで完全に洗う。</p> <p>直ちに医師の診断を受ける。</p>
飲み込んだ場合	<p>誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の相談を受ける。</p> <p>嘔吐物は飲み込ませない。</p> <p>医師の指示による以外は無理に吐かせない。</p>
応急措置をする者の保護	<p>適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。</p> <p>換気を行う。</p>

## 5. 火災時の措置

消火剤	噴霧放水、耐アルコール性泡、粉末消火剤、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の消火方法、 消火を行う者の保護	<p>適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。</p> <p>安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除く。</p> <p>指定の消火剤を使用する。</p> <p>高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。</p> <p>消火活動は風上より行う。</p>

## 6. 漏出時の措置

<p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置</p>	<p>作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。</p> <p>屋内では喚気をしっかり行う。</p> <p>屋外の場合にはできるだけ風上から作業を行う。</p> <p>周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。</p> <p>付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。</p> <p>着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。</p>
<p>環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の 方法・機材</p>	<p>河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。</p> <p>漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</p> <p>付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置する。</p> <p>衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。</p> <p>乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。</p> <p>大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い</p>	<p>換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。</p> <p>周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</p> <p>作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。</p> <p>工具は火花防止型のものを使用する。</p> <p>静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。</p> <p>使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。</p> <p>皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。</p> <p>取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。</p> <p>密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。</p>
<p>保管</p>	<p>日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。</p> <p>盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。</p> <p>火気、熱源から遠ざけて保管する。酸・アルカリと同じ場所に置かない。</p>

## 8. 暴露防止及び保護措置

成分名	許容濃度(ACGIH(TLV))	管理濃度
チアメトキサム	未設定	TWA 値 (シンジェンタ社) :3 mg/m <sup>3</sup> (8hr)
チアベンダゾール	未設定	TWA 値 (シンジェンタ社) :10 mg/m <sup>3</sup> (8hr)
シプロコナゾール	未設定	TWA 値 (シンジェンタ社) :0.5 mg/m <sup>3</sup> (8hr)
ベンジルアルコール	25 mg /m <sup>3</sup> (日本産業衛生学会)	未設定
設備対策	<p>取扱い設備は防爆型を使用する。                      排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。                      液体の輸送、汲み取り、攪拌機の設置についてはアースをとるように設備する。                      取扱い場所の近くには、高温、発火源となるようなものが置かれないような設備とする。                      屋内設備の場合は、作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にする。                      タンク内部等の密閉設備で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。                      装置は耐腐食性のある材質を用いて作る。                      腐食性物質に、作業者が直接接触したり、ばく露したりしないような配慮をする。</p>	
保護具	<p>有機ガス用防毒マスクを着用する。                      密閉された場所では送気マスクを着用する。                      有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。                      取扱いには保護メガネを着用する。                      取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着ける。                      また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。</p>	

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	黄赤色透明
臭い	溶剤臭
引火 (°C)	112°C (第四類第三石油類)
pH	3.0~4.5 (1%水溶液)
密度及び/又は相対密度	1.06 (20°C)

## 10. 安定性及び反応性

安定性 (危険有害反応可能性)	<p>通常の条件下では安定である。                      日光に当たると黄変することがある。                      加熱や燃焼により分解し、有毒な硫黄酸化物、硫化水素等を生じる。                      塩基、酸化剤と激しく反応し、硫黄酸化物を生成し中毒の危険をもたらす。                      皮膚、眼、粘膜を侵す。</p>
避けるべき条件	混触危険物との接触。

混触危険物質  
危険有害な分解生成物

高温、高湿、日光、静電気放電。  
塩基類、酸化剤  
加熱や燃焼により分解し、有毒ガスを発生する恐れがある。

## 1 1. 有害性情報

### 急性毒性

経口 LD50 300-2000 mg/kg ラット (♀)  
経皮 LD50 >2000 mg/kg ラット (♂、♀)  
(類似混合物に関するデータ)  
吸入 LD50 >5 mg/L ラット (4時間)  
(類似混合物に関するデータ)

### 皮膚腐食性・刺激性

区分1に分類される成分を1%以上5%未満の範囲で含有しているため区分2とした。

### 眼に対する重篤な損傷性/

区分1に分類される成分を3%以上含有しているため区分1とした。

### 眼刺激性

### 皮膚感作性

モルモット 陰性

### 生殖細胞変異原性

分類できない

### 発がん性

分類できない

### 生殖毒性

区分1に分類される成分を0.3%以上含有しているため区分1とした。

### 特定標的臓器毒性

(単回ばく露)

区分1(中枢神経系、腎臓)に分類される成分を10%以上含有しているため区分1(中枢神経系、腎臓)とした。

区分3(麻酔作用)に分類される成分を20%以上含有しているため区分3(麻酔作用)とした。

### 特定標的臓器毒性

(反復ばく露)

区分1(中枢神経系)に分類される成分を10%以上含有しているため区分1(中枢神経系)とした。

### 誤えん有害性

分類できない

## 1 2. 環境影響情報

### 水生環境有害性 短期(急性)

区分2 1-10 mg/L (甲殻類:オオミジンコ)  
10-100 mg/L (魚類:コイ)

### 水生環境有害性 長期(慢性)

区分2

### オゾン層への有害性

いずれの成分も情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。

### 汚染容器及び包装

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。

排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する

空容器は、内容物を完全に除去してから処分する。  
空容器・包装等はリサイクルを推奨する。

## 1 4. 輸送上の注意

	取扱及び保管上の注意の項の記載に従う。 容器に破損、腐食、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
国内規制	陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合はそれぞれの定める輸送方法に従う。 海上輸送 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところにより従う。 航空輸送 航空法の定めるところに従う。
国際規則	国連番号 3082 輸送名 環境有害性物質（液体）、N.O.S. 国連分類 クラス 9 容器等級 III 海洋汚染物質 該当する

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法	ベンジルアルコール（名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物、リスクアセスメント対象物質）
化管法	チアベンダゾール 第2種指定化学物質（2023年3月31日まで） チアメキサム(2023年4月1日以降、第1種指定化学物質)
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	危険物第4類第3石油類、非水溶性、危険等級III
海洋汚染防止法	チアベンダゾール、ベンジルアルコール（有害液体物質 Y 類物質）
大気汚染防止法	ベンジルアルコール（揮発性有機化合物）

## 1 6. その他の情報

記載内容の取扱い 製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

参考文献 化学物質総合情報提供システム（CHRIP）日塗工「化学物質データベース第6版」各メーカー原料 SDS

問合せ先

担当部門

電話番号

H S E グループ

03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「オプティガード」はシンジェンタ社の登録商標です。